

令和元年 10 月 10 日
タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）

映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2019」講師・参加者決定、 修了生向け「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」選抜企画発表

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、アジアの若手の映画監督やプロデューサーに、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。世界的に実績のある「ベルリン国際映画祭」と提携して実施しています。

近年、世界の主要な映画祭において、修了生たちの活躍がめざましい本プロジェクト。今年も、「Open Your Eyes: From a Wide Perspective」のテーマのもと、11月25日（月）～30日（土）までの6日間の日程で行います。

このたび応募選考の結果、15名の参加者（タレンツ）が決定しました。メイン講師には、ラブリランテ・メンドーサ氏、ジェームズ・リュー氏、セバスティアン・シェスノ氏の3名を迎えます。

また、修了生対象プログラム「ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム」では、タレンツ・トーキョー修了生を対象に、a) 企画開発ファンド：製作前の企画を実現するための支援（上限100万円）、b) プロモーションファンド：完成間近の作品を後押しする支援（上限50万円）の2種類の資金援助を実施しています。また、c) フェロシップ・プログラムでは、海外国際映画祭に併設された企画マーケットなどへの修了生の参加を支援しています。

そして今年も、この映画人育成プログラムの10回目を記念し、2010年に開催したネクスト・マスターズ・トーキョーから今年のタレンツ・トーキョーまでの10年を振り返る、オープンキャンパス：「私たちの10年」を11月28日（木）13:00から朝日ホール スクエアBにて開催いたします。（12:30開場予定）。登壇者には、今年の東京フィルメックス コンペティション部門で作品が出品される、ニアン・カヴィッチ監督（TT2016修了）等、過去の修了生等の参加を予定しております。

詳細については、別紙1～3をご参照ください。

- 1 「タレンツ・トーキョー2019」メイン講師（別紙1のとおり）
- 2 「タレンツ・トーキョー2019」参加者（タレンツ）（別紙2のとおり）
- 3 ネクスト・マスターズ・サポート・プログラム選抜企画（別紙3のとおり）

<開催概要>

名称：Talents Tokyo 2019／タレンツ・トーキョー 2019（略称：タレンツ・トーキョー）
会期：令和元（2019）年11月25日（月）～11月30日（土）
会場：有楽町朝日ホール他
公式サイト：<https://talents-tokyo.jp>
主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会（東京フィルメックス）
協力：ゲーテ・インスティトゥート 東京ドイツ文化センター
提携：ベルリナーレ・タレンツ（ベルリン国際映画祭）
事業に関する問合せ先：実行委員会事務局 TEL：03-6258-0333

（*本事業は、平成22年度は「ネクスト・マスターズ・トーキョー」、翌23年度から25年度は「タレント・キャンパス・トーキョー」、26年度より「タレンツ・トーキョー」の名称で実施しています。）



別紙1「タレンツ・トーキョー 2019」 メイン講師



(左から、ブリランテ・メンドーサ氏、ジェームズ・リュー氏、セバスティアン・シェスノ氏)

ブリランテ・メンドーサ (監督)

フィリピン映画を代表する映画監督。フィリピン人で初めて3大映画祭にて賞を受賞する。2007年ベルリン国際映画祭では、『どん底』がカリガリ賞を受賞。2012年には、『囚われ人 パラワン島観光客21人誘拐事件』が同映画祭のコンペティション部門で上映される。2009年には、『グランドマザー』がヴェネツィア国際映画祭の金獅子賞にノミネートされた。2012年には、『汝が子宮』がLa Navicella Venezia Cinema Awardを受賞。『キナタイ マニラ・アンダーグラウンド』が、2009年カンヌ国際映画祭の監督賞を受賞。その一年前には、『サービス』がパルムドールにノミネートされている。2016年には、『ローサは密告された』がカンヌで主演女優賞を受賞。同作は、2017年アカデミー賞のフィリピンエントリーになった。

ジェームズ・リュー (プロデューサー)

30年のキャリアを持ち、自主映画のプロデューサーとして幅広い活躍を遂げる。2005年に、台湾自主映画の世界配給に特化したJoint Entertainmentを設立。2015年には、自主映画の製作とプロデュース業を受け持つJoint Picturesを設立。最新作では、タレンツ・トーキョー2013修了生、チャン・チーウェイ監督の『Jang Gae』の製作に関わる。『Jang Gae』は2015年にネクスト・マスターズ・サポート・プログラムの企画開発ファンドを受賞した。代表作には、園子温監督の『希望の国』(2012)、藤田容介監督の『福福荘の福ちゃん』(2014)、『十年台湾』(2018)、半野喜弘監督の『パラダイス・ネクスト』(2019)等がある。

セバスティアン・シェスノ (ワールド・セールス)

映画業界で20年以上活動する。これまでにFrance Télévisions Distribution、セルロイド・ドリームズ、Rezoで働く。2014年の終わりに、年間8本の映画を扱うワールド・セールス企業、Cercamonを立ち上げる。Cercamonとは、オクシタン語で世界の探求者を意味し、同社はメジャーなマーケットと映画祭を網羅する。担当した映画には、ダリボル・マタニッチ監督の『灼熱』(2015)(カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞受賞)、カミラ・アンディニ監督の『見えるもの、見えざるもの』(2017)(ベルリン映画祭Kプラス長編映画作品賞受賞)、カーステン・タン監督の『ポップ・アイ』(2017)(サンダンス映画祭オフィシャル・セレクション、ロッテルダム国際映画祭ビッグスクリーンコンペティション最優秀作品賞受賞)等がある。

別紙2「タレンツ・トーキョー2019」 参加者（タレンツ）

監督：

Fei Pang WONG（香港）
Sinung Winahyoko（インドネシア）
古川原壮志（日本）
三澤拓哉（日本）
KANG Heayun（韓国）
Douglas SEOK（韓国/アメリカ合衆国）
Joseph Albert MANGAT（フィリピン）
CHIANG Wei Liang（シンガポール）
WANG Ping-Wen（台湾）
Ash MAYFAIR（ベトナム/アメリカ合衆国）

プロデューサー：

XU Jianshang（中国）
ZHOU Xinyu（中国）
Suryo Wiyogo（インドネシア）
水野詠子（日本）
Carlo VALENZONA（フィリピン）

*氏名（国名／地域名）

*タレンツ名は国名のアルファベット順で表示しています。

*令和元年10月10日時点の情報であり、変更になる可能性があります。

別紙 3 ネット・マスターズ・サポート・プログラム

選抜企画：

a) 企画開発ファンド

Jenny SUEN (TT2018 年修了、香港) <Peaches>

今井太郎 (TT2018 年修了、日本) <Toki>

Xaisongkham INDUANGCHANTHY (TT2018 年修了、ラオス) <Raising a Beast>

Amanda Nell EU (TT2018 年修了、マレーシア) <Tiger Stripes>

Martika Ramirez ESCOBAR (TT2016 年修了、フィリピン) <Return of the Owl>

Chia-Hsin LIU (TT2018 年修了、台湾) <Fan Fan>

Sompot CHIDGASORNPONGSE (TT2018 年修了、タイ) <9 Temples to Heaven>

Anocha SUWICHAKORNPONGSE (TT2010 年修了、タイ) <Come Here>

b) インターナショナル・プロモーション・ファンド

Shalahuddin SIREGAR (TT2016 年修了、インドネシア) <A Boarding School>

LAU Kek-Huat (TT2015 年修了、マレーシア) <Bolumi>

*氏名 (TT 修了年, 国名) <企画名>

*受賞者名は国名のアルファベット順で表示しています。

*令和元年 10 月 10 日時点の情報であり、変更になる可能性があります。